

第30回 滋賀県首長会議

魅力ある地方大学の実現と県内進学・就職の促進について

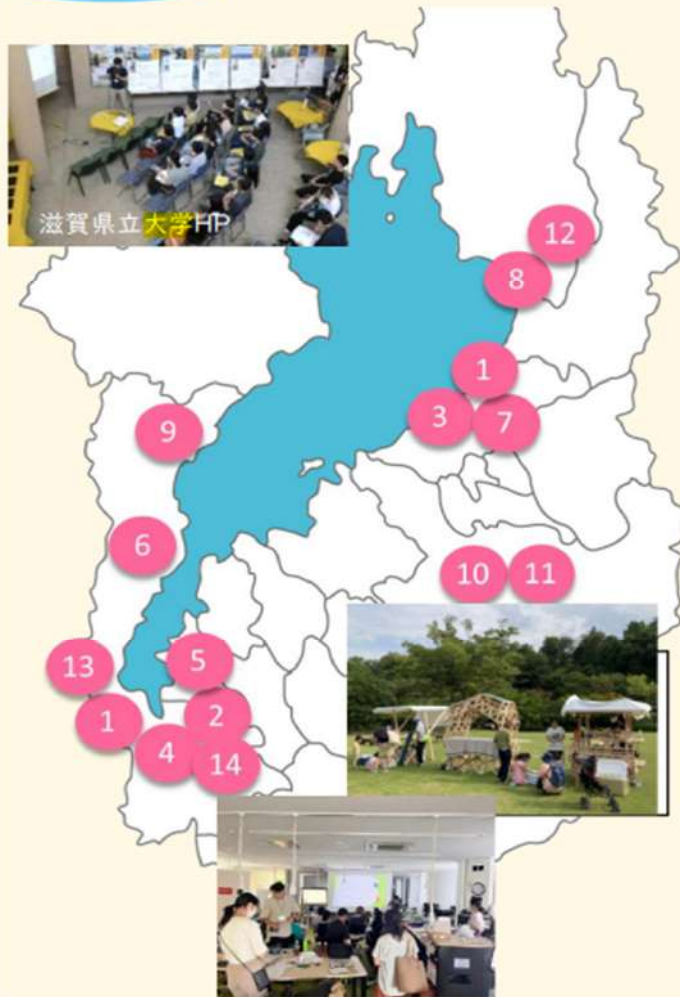
2024年1月16日(火)

滋賀県

01	大学一覧P1
02	基礎データ(進学と就職)P2
03	基礎データ(就職意向)P4
04	本県の主な取組状況と今後の取組P7

大学一覧

大学



多様な学びのフィールド

多種多様な14の大学があり、学生数は人口比で都道府県7番目の多さ！
看護、スポーツ、環境、文化、芸術、薬学、食物など、特色ある学部

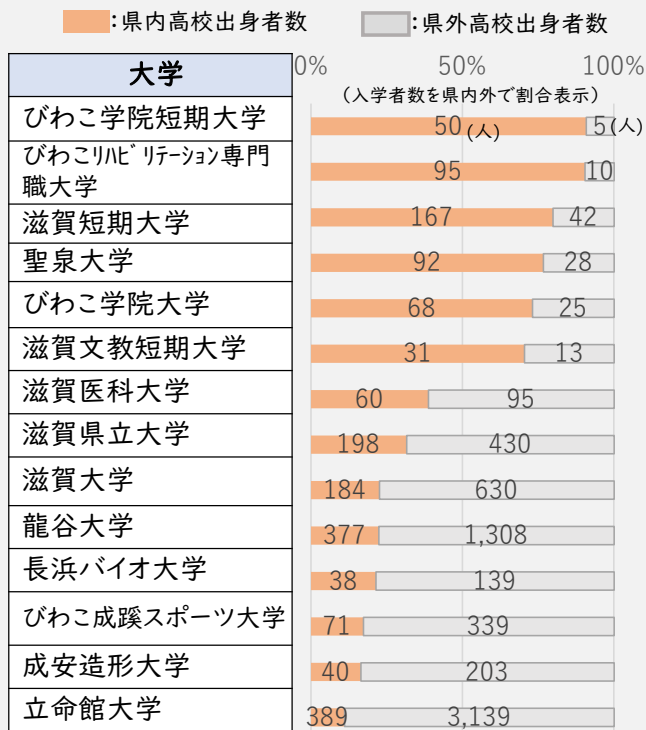
	文・文化・心理学系	外国語系	経済・経営・商学系	社会学・社会福祉学系	国際関係系	食物・被服・生活科学系	芸術学系	教育・教員養成系	人間科学・総合科学系	看護・スポーツ・保健学系	薬学系	医学・歯学系	理学系	工学系	農・水産学系	環境科学系
①滋賀大学		●						●						●		●
②滋賀医科大学										●		●				
③滋賀県立大学	●	●		●	●	●			●	●			●	●	●	●
④龍谷大学				●		●							●	●	●	●
⑤立命館大学			●					●	●	●			●	●		●
⑥成安造形大学							●									
⑦聖泉大学	●		●	●				●	●	●						
⑧長浜バイオ大学												●				
⑨びわこ成蹊スポーツ大学										●						
⑩びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部		●	●			●		●	●							
⑪びわこリハビリテーション専門職大学										●						
⑫滋賀文教短期大学	●							●								
⑬滋賀短期大学		●				●		●								
⑭放送大学滋賀学習センター											●					

出典：環びわ湖大学・地域コンソーシアム

県内大学進学率と県内就職率



大学入学者数にしめる県内外高校出身者 (R5年度入学)



就職者に占める県内就職者の割合 (R4年度卒業)

大学	人数	率(%)
びわこ学院短期大学	48	96
滋賀短期大学	193	77
聖泉大学	72	74
びわこ学院大学	69	72
滋賀文教短大学	41	72
滋賀医科大学	99	50
滋賀大学	170	22
滋賀県立大学	116	22
長浜バイオ大学	34	18
成安造形大学	21	16
龍谷大学	137	10
びわこ成蹊スポーツ大学	33	10
立命館大学	63	2

県内就職者の就職先業種 (R4年度卒業)

就職先業種	人数	率(%)
公務(教育、医療を含む)	445	40.6
製造業	146	13.3
介護、福祉	137	12.5
小売	66	6.0
医療、看護(公務を除く)	61	5.6
教育(公務を除く)	54	4.9
それ以外のサービス業	46	4.2
建築、建設、不動産	31	2.8
金融	30	2.7
飲食	19	1.7
旅行・宿泊・レジャー	13	1.2
商社	12	1.1
IT、通信	10	0.9
運輸・物流	7	0.6
人材サービス、アウトソーシング	6	0.5
農林水産	5	0.5
コンサルティング、法律・会計事務所等	3	0.3
エネルギー(電気・ガス等)	1	0.1
広告、マスコミ、出版	0	0.0
その他	4	0.4

出典:環びわ湖大学・地域コンソーシアム

県外大学の県内就職率 (就職支援協定締結校を対象とした就職状況に係る調査結果より)

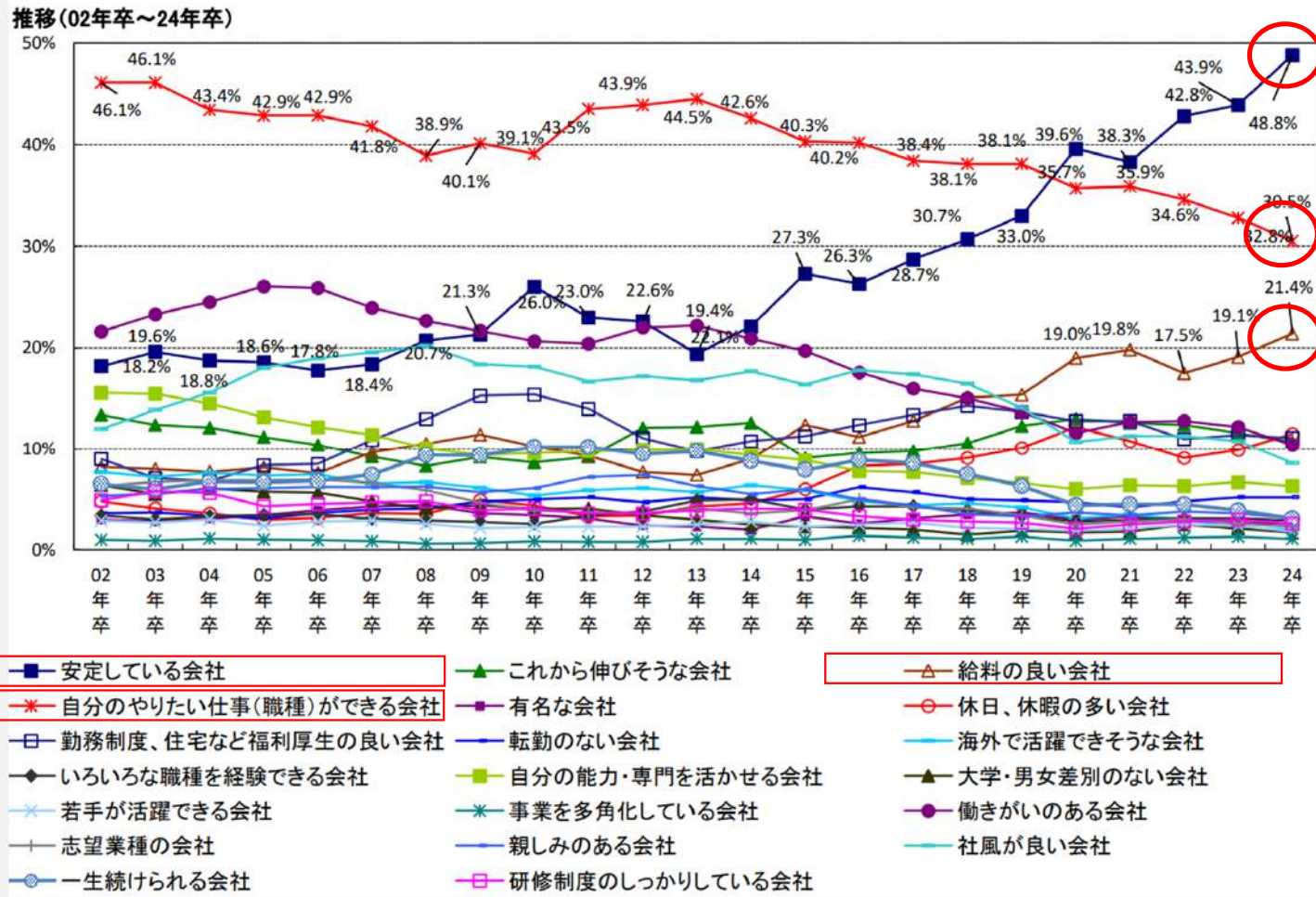
県外大学(就職支援協定締結校に限る)卒業生の 県内就職者数・就職率

大学	卒業生(R5.3卒)	うち県内 出身者数	滋賀県出身 割合	県内 就職者数	県内 就職率
華頂短期大学	165	59	35.8%	57	34.5%
京都華頂大学	128	44	34.4%	30	23.4%
京都文教短期大学	208	44	21.2%	32	15.4%
京都橘大学	1,146	342	29.8%	160	14.0%
大谷大学	623	142	22.8%	73	11.7%
京都光華女子大学	535	136	25.4%	62	11.6%
佛教大学	1,467	233	15.9%	141	9.6%
京都文教大学	429	94	21.9%	36	8.4%
花園大学	393	72	18.3%	31	7.9%
京都女子大学	1,349	117	8.7%	67	5.0%
京都産業大学	3,188	257	8.1%	86	2.7%
追手門学院大学	1,752	92	5.3%	28	1.6%
同志社大学	6,611	303	4.6%	59	0.9%
近畿大学	7,134	80	1.1%	24	0.3%
神戸学院大学	2,423	13	0.5%	7	0.3%
関西学院大学	5,227	54	1.0%	11	0.2%
専修大学	3,943	4	0.1%	2	0.1%
中央大学	6,006	4	0.1%	1	0.0%
合計	42,727	2,090	4.9%	907	2.1%

- ・滋賀県出身割合が高い大学の
県内就職率が高い傾向にある。
- ・滋賀県との距離が近い京都府の
大学の県内就職率が高い傾向に
ある。
- ・県外大学の学生に対しても滋賀
県企業の魅力を知ってもらう機会を
創出することが重要。

基礎データ(就職意向) 全国

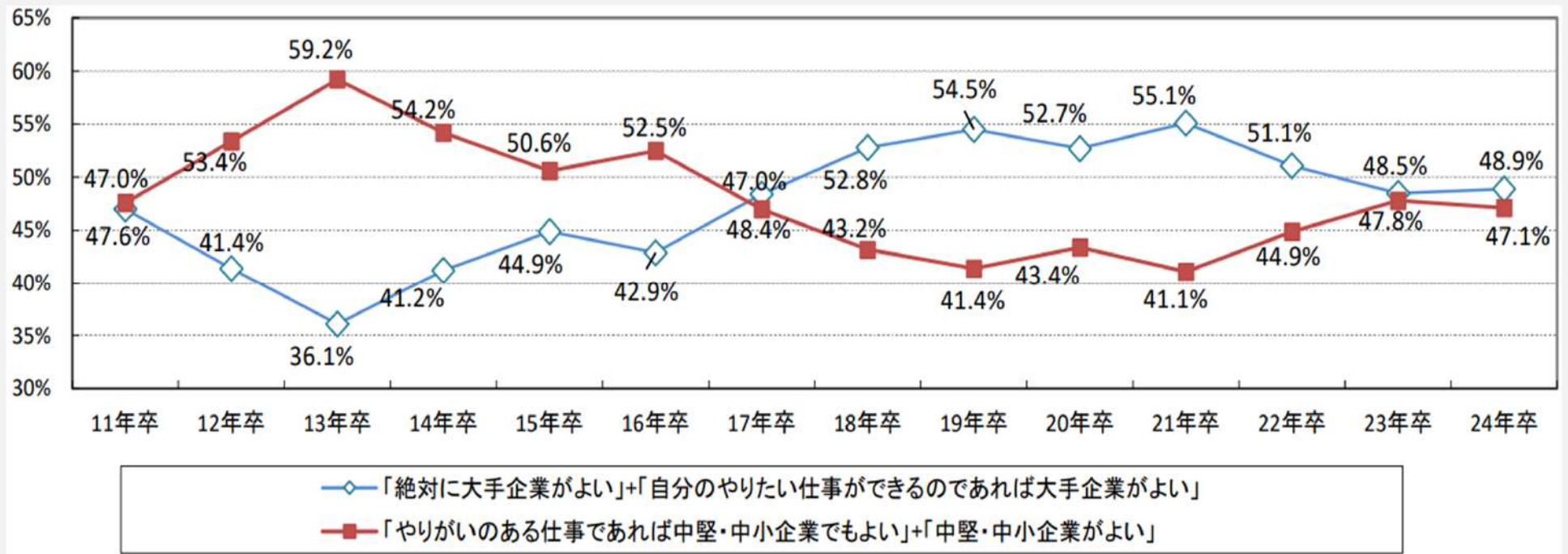
企業選択のポイント



出典:マイナビ 2024年卒大学生就職意識調査

基礎データ(就職意向) 全国

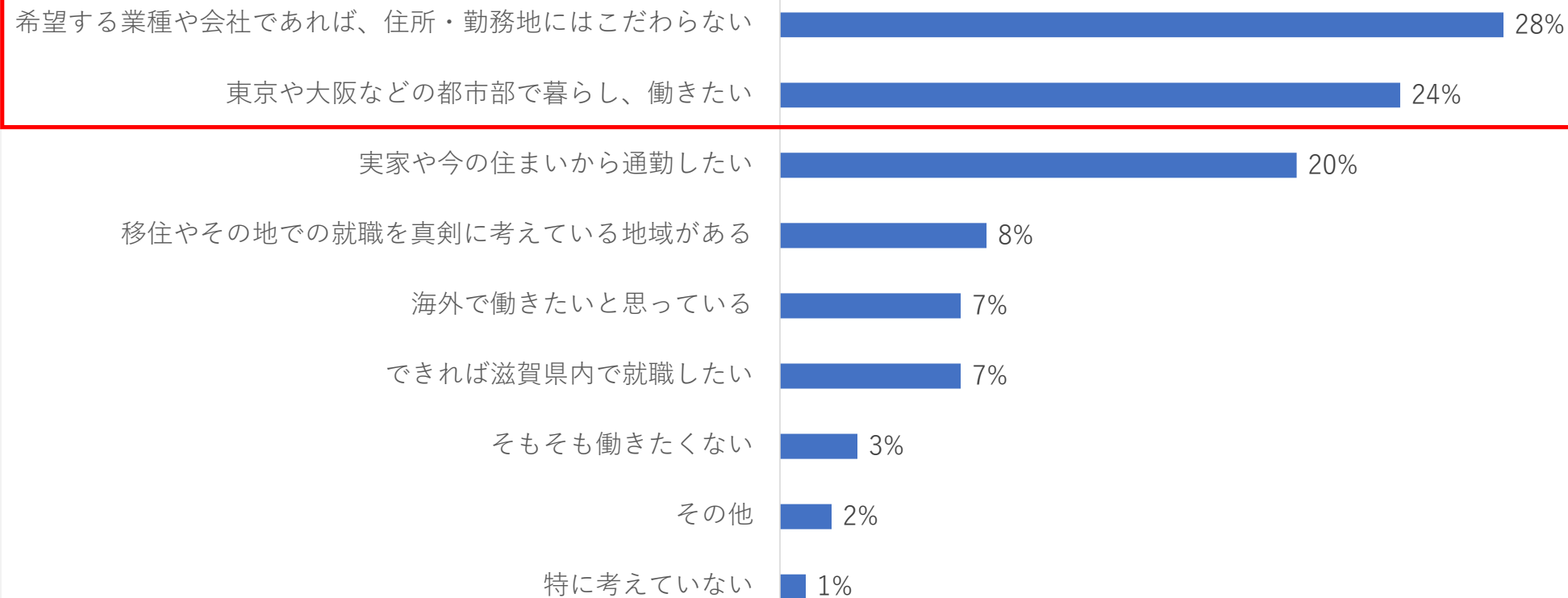
企業志向(大手志向と中堅・中小志向)



基礎データ(就職意向) 滋賀

Q:あなたは、就職する際の住所や勤務地についてどう考えていますか。

(N=192(滋賀大学経済学部生))



本県の主な取組状況と今後の取組

若者の県内定着に向けては、ライフイベントに合わせた取組等に加え、初等教育からアプローチし、子ども達が小さいときから将来の夢を持ち、自分で考え、やりたいことが出来る環境を社会全体で創っていく。

初等教育

中等教育

高等教育

既存の取組を着実に推進

高大連携等

- ・ 出前授業
- ・ 大学での模擬授業
- ・ 学校説明会
- ・ 高校の魅力化 等

就職支援等

- ・ 地域産業・企業から学ぶ社長講義(県大)
- ・ 就職説明会(労働雇用政策課)
- ・ インターンシップ(しがプロ)(労働雇用政策課)
- ・ 環びわ湖大学・地域コンソーシアムでの地域連携事業(例:無印良品と連携した資源回収事業)(企画調整課) 等

地域や企業にふれ合う機会を提供

けんせつみらいフェスタ

琵琶湖システムの認知拡大

びわ湖の日関連の取組

しごとチャレンジフェスタ

等

New

小学生の頃から、将来の夢を考えたり、県内企業を知ったり、自分のやりたいことができる環境整備を強化 ※参考資料あり

県内企業等との連携による「こどなBASE」の活用と推進
(STEAMプログラム創出を含む)

県内大学等との連携による理系的素養を持った人材の育成
(環びわ湖大学・地域コンソーシアムで実施)

<期待する効果>

- ✓ 県内の様々な仕事に触れる機会が生まれる・増える
- ✓ 仕事への夢、社会貢献の心を育む
- ✓ 滋賀県をより魅力的に感じる

こどなBASE

登録

こどなBASE
子ども × 大人でつくる、滋賀の未来。



県内や県に関わりを持つ企業・団体等に、こどなBASEに登録・参加いただきます。

プログラム実施 (例)

(株)ダイフク×八日市南小学校の事例
～トンボの保全活動～



実際の職場や工場と中継でつなぐオンラインツアー



持続可能な滋賀を創る・支える仕事や活動を伝えるプログラムを県内の放課後児童クラブ等の子どもに届けます。

子ども達の学びへ

会社のとりくみがよく分かった
SDGsの意味が分かった



子ども達の地元の仕事への関心・夢、社会貢献の心を育むことにつなげます。

企業・事業者・団体同士、子どもを見守る現場を結ぶプラットフォーム

子どもの心と力を企業・大学等と共に育む ～滋賀の未来を担うひとづくり～

認識

未来の滋賀を支えるひとづくりのため、子どもが滋賀で夢・希望を持ち、考え・創る力を育むことに社会全体で取り組んでいくことが重要。

方針

社会全体で子どもの心と力を育む

！ 子どもと地域の企業がつながる機会を増やす

！ 子どもの地域・社会を支える心を育む

！ 子どもの「考え・創る」力を育む

結果的に、地域社会の持続可能性にもつながる

- 子どもが地元企業や地域と関わることで、地域社会への関心が高まる。
- 子どもの頃関わった大学や企業が進路の選択肢となる。
- 子どもの視点を知り、企業・大学・地域がより持続可能な形に変わる。

取組

①子どもを見守る現場と滋賀を支える企業・大学・団体をつなぐ



「社会を支える心を育むプログラム」

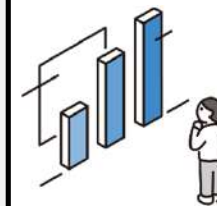
- 子どもの将来の夢や希望が広がる体験プログラムを創出
- 仕事や想いを共有し、社会を支える心を育む機会を創出
- 子どもの視点で、持続可能な経営を考える機会を創出



「STEAMの力を育むプログラム」

- 企業の「考え・創る」力を育むSTEAM（科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学）体験プログラムを創出
- 県内大学や企業との連携による、科学的思考をもつひとづくり、探求する環境づくりの取組を支援

②子どもをど真ん中において滋賀の未来と大学像を考える



「学ぶ・STEAMなら滋賀」を実現する大学と施策連携研究

- 子どもの探求を満たし高め、地域活性化や人材育成につながる大学像や大学間連携、行政施策との連携のあり方を調査・研究

子どもと関わることから始める

今後の在り方や方向性を見定める

理系的素養を持った人材の育成

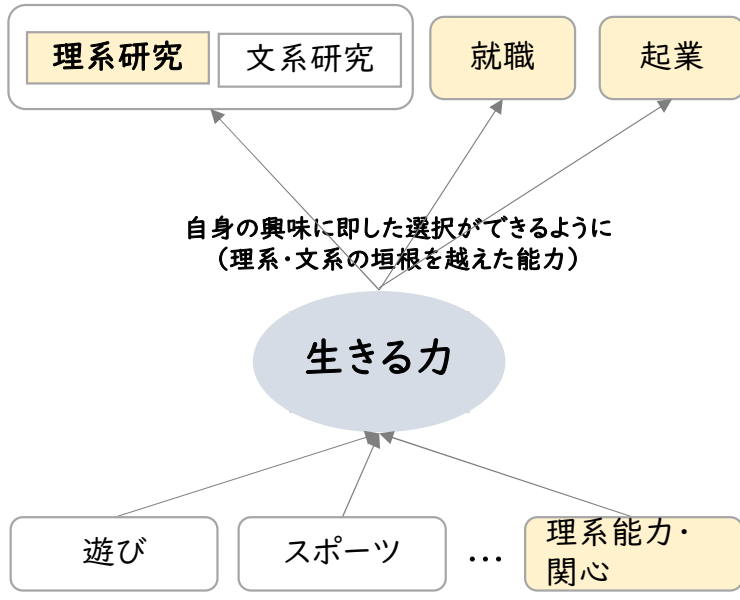
環びわ湖大学・地域コンソーシアムを通して、理系人材不足の解決、経済界が求める人材の育成を視野に、大学、行政や経済界等が連携し、科学を切り口に、子ども達がワクワクし続けられる環境を構築していきます。

目的

ものごとを科学的な見方や考え方でとらえ、自らのアイデアを育て、実現していく力をもった子どもたちを増やす

理系的素養も身につけ子ども達の「生きる力」を育む。
副次的に、理系への進学や就職者数の増加を期待。

理系人材のすそ野拡大



課題

- ✓ 子どもの頃の工学的、理系的体験が少ない。
- ✓ ますます、自分で課題や関心を見つけ、アイデアを形にするスキルが求められる。
- ✓ 国家的なデジタル人材不足

君が知りたいこと、やりたいこと

- ムーブメントの形成
- 子ども達へのサイエンス体験機会
- 親向けのレクチャー

アクション



高校の魅力化

令和5年3月 「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」策定

🏠 全ての県立高校の魅力化の取組を推進

普通科の特色化

地元自治体や企業などと連携・協働した地域探究の学び

伊香高校

(仮称)
森の探究科

県北部の豊かな自然環境、森林資源などを活用し「森で学ぶ」をコンセプトに、生徒の「生きる力」を地域とともに育む<ゼロ・カーボン・ハイスクール>を目指す。

守山北高校

(仮称)
みらい共創科

「地域をフィールドとした学び」と「ウェルビーイング」を柱に、多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造する。

令和7年度設置予定



信楽高校

アート留学

「信楽で陶芸やデザインを学びたい!」という熱意あふれる生徒を全国から募集

甲賀市が設立した「信楽高等学校地域支援協議会」による支援

彦根工業高校

マイスター
ハイスクール

進取の気性を生かし持続可能な新たな地域産業を共創できる技術人財の育成を目指す。

しがプロ（インターンシップ）

◆しがプロとは

県内企業で実施する
5日間のプロジェクト型インターンシップ・就業体験

◆特徴

①学生が企業や業界を選ぶのではなく、学生・企業が5つのテーマと6つのエリアから希望を選択し、事務局が実習先企業をマッチング →「偶然の出会い」を創出

②企業ごとに設定された「解決したい課題」に対し、学生たちがアイデアを考え、企業に対して提案プレゼンテーションを行う

◆成果（過去「しがプロ」に参加した、令和5年3月大学等卒業予定者の進路状況についての調査より）

・就職者65名に対し、実習先への就職者数は5名、県内企業への就職者数は19名で、県内就職率36.9%

【参考】

・インターンシップ参加者かつ就職先確定者のうち41.4%がインターンシップ先企業に就職する予定。（就職みらい研究所「就職白書2023」）
 ・県内大学卒業生の就職者に占める県内就職率は16.6%（環びわ湖大学・地域コンソーシアム「大学基礎データ調査」）
 →県主催インターンシップ「しがプロ」参加者のインターンシップ先企業への就職率は低いものの、県内就職率は高い水準にあると見ている。

◆申込者・実施数

	学生(人)	企業(社)
令和2年度 夏(8～9月)	75(45)	27(19)
令和2年度 冬(1～2月)	66(43)	30(20)
令和3年度 夏(8～9月)	82(60)	29(24)
令和3年度 冬(1～2月)	66(45)	25(20)
令和4年度 夏(8～9月)	101(80)	39(36)
令和4年度 冬(1～2月)	91(56)	32(26)
令和5年度 夏(8～9月)	101(78)	43(37)
合計	582(407)	225(182)

※（）内の数値は5日間修了数。

※R5年度夏の参加学生は合計78人、うち県内学生は49人

大学生に県内企業の魅力を伝える取組（県立大学）

地域産業・企業から学ぶ社長講義（2単位）

県内の代表企業の社長等が、産業界のニーズやこれから社会人になる学生に期待される能力などに加え、自らの体験や思いについて直接学生に語っていただいている。

講義実績

オプテックス株式会社、株式会社ゴーシュー、高橋金属株式会社、株式会社日吉、株式会社平和堂、山科精器株式会社 など

講義内容の例

- ・地域の活性化の推進が結果として企業の成長を実現する。⇒「地域共創」
- ・企業の成長・存続にはイノベーションが不可欠。好きなこと、興味あることに打ち込むことで、その分野で個性的な能力を伸ばすことができる。好きなこと、興味のあることを見つけて、トライしよう!
- ・「経済」と「環境」の関係性、日本と世界の「環境ビジネス市場」について
- ・これからの学生は大変革期に社会に出ていくことを踏まえて、大学生活を課題を見出す能力を養う4年間にしてほしい。
- ・講義の中で卒業生が登壇し、後輩へのメッセージをいただくこともある。



本講義以外にも、県内企業の魅力を伝える取組を実施

- ・就職セミナーにおける県内企業に就職した卒業生の体験談
- ・インターンシップで県内企業を中心とした受け入れの打診 など

近江楽座（県立大学）

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動
- 学生が地域の方々と一緒に活動し、学内だけでは学べないことを体験
- 大学と地域が協働して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる



2023年度までの20年間で、
延べ**448**のプロジェクトが
活動を展開

〔取組例〕

・とよさと快蔵プロジェクト

豊郷町にある空き家や蔵を学生の視点から改修し、運営やイベントなどで活用することにより町を元気づける。

・あかりんちゅ

寺院で廃棄予定のろうそくを回収し、再利用したキャンドルの販売や地域でのキャンドルナイト等を開催。地域とのつながりを持ちながら、電気を消してキャンドルの灯りだけで過ごすことにより、環境について考えてもらう機会を創出。